

# 市政を問う!!

質問者

古畑 秀夫  
山口 恵子  
永田 公由  
柴田 博  
中原 巳年男  
丸山 寿子  
鈴木 明子  
金子 勝寿  
森川 雄三  
牧野 直樹  
中村 努

※本文は質問者自身の原稿によるものです

一般質問の要旨

## 国保医療制度について

◆資格証明書の発行中止を

問 県内では滞納があっても資格証明書を発行していない自治体がある。本市でも中止すべきではないか。(柴田)

答 現在発行している世帯は払えるが払いたくないという世帯である。相談の中で、本来は資格証明書だが短期証にしている世帯もある。

◆高齢者医療の課題は

問 従来の国保並びに老人医療保健制度における本市の課題は何か。(山口)



高齢者にわかりやすい医療制度の改革を



市民の関心を集めている後期高齢者医療制度 (写真は被保険者証)

答 老人医療費拠出金の負担が増大し国保財政を圧迫していた。また国保税の一部から拠出金を負担していることが、被保険者に分かりにくい仕組みなので改革の必要性を感じていた。

問 保険料の軽減措置の拡大や年金天引きについても改善が必要ではないか。(山口)

答 現在政府において低所得者の保険料軽減策について検討している。保険料の徴収方法についても見直しを行っている。

◆見直ししても抑制は続く

問 後期高齢者医療制度について、国民的怒りが広がり、包括払い、かかりつけ医など、高齢者医療への制限については全面的導入となっていない。

終末期相談支援料等も見直しをせざるを得なくなった。しかし、この制度がある限り高齢者の医療費削減、高齢者医療抑制の方向は強化されるのではないかと。市は説明に気を付けるべきだ。(鈴木)

答 75歳以上の高齢者の医療で今年度新設された終末期相談支援料については、延命措置の中止の強制につながるなどの批判を受け、見直しの検討に入っている。少子高齢化の中で、ある程度の負担はやむをえないとの声もあり、運用面の問題の洗い直しが行われている。今後、国会での議論をお願いしたい。

◆薬代を安くするには

問 後発医薬品の使用状況は。(古畑)



後発医薬品(ジェネリック医薬品)の普及を